I·O DATA

CDRW-AB シリーズ

CD-RW セットアップガイド

133650-01

**本製品をセットアップし、音楽CDを作るまでの作業を説明しています。
手順にしたがって作業を行ってください。**

本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、オンラインマニュアル（HTML）をご覧ください。

オンラインマニュアルのインストール／起動方法

①添付の「CDRWツールズコレクション」CD-ROMをドライブに挿入します。

●パソコンにインストールしてから起動する場合

②自動でメニューが起動しますので、[インストールをする] ➡ [オンラインマニュアル] の順にクリックします。
③画面にしたがってインストールします。
④以下の順に起動します。
[スタート] ➡ [プログラム] ➡ [I-O DATA] ➡ [CDRW Tools Collection for CDRW-AB×××] ➡ [オンラインマニュアル] (××××××は製品名が表示されます。)

●CD-ROMから直接起動する場合

② [オンラインマニュアルを読む] ボタンをクリックします。

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/support/）にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 内容物を確認する

- ☐ CD-RWドライブ（1台）

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。※Aは英字、0は数字、aaは英数字（下線付き）となります。

●シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。**http://www.iodata.jp/regist/**
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。
http://www.iodata.jp/lib/

- ☐ CDRWツールズコレクション（CD-ROM：1枚）
- ☐ 取り付けネジ（4本）
- ☐ IO DATA ロゴシール（1枚）（ドライブのトレイ前面にお貼りください）
- ☐ はじめにお読みください（1枚）
- ☑ CD-RWセットアップガイド（本書）
- ☐ ハードウェア保証書（1枚）

2 スイッチを設定する

本製品を取り付ける前にスイッチを設定する必要があります。ここでは、お使いの環境に合わせてスイッチを設定します。

本製品を『マスタ』（出荷時設定）または『スレーブ』のどちらかに設定します。

●マスタ、スレーブについて

『マスタ』（出荷時設定）

『スレーブ』

『ケーブルセレクト』

●通常は使用しません。

注意 PC98-NXシリーズでご使用の場合のご注意

本製品をプライマリスレーブまたはセカンダリマスタで使用してください。
セカンダリスレーブに接続するとパソコンが正常に起動しない場合があります。

IDEの基礎知識 本製品を取り付ける場所を決めてから、左記の通り設定してください。

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
“パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで”

■パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。
『プライマリ』(PRIMARY) ➡ IDE1の場合があります。
『セカンダリ』(SECONDARY) ➡ IDE2の場合があります。

■『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブル（次ページ参照）を使用して、以下の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。
『マスタ』(MASTER) ／『スレーブ』(SLAVE)

●接続例
一般的なパソコンでの接続例です。
空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。

『セカンダリ』に…
●2台接続する場合
どちらかを『マスタ』
もう一方を『スレーブ』
●本製品のみ接続する場合
『マスタ』

パソコン本体の標準のハードディスク:『マスタ』

『プライマリ』に接続する場合は、『スレーブ』

『セカンダリ』コネクタ
『プライマリ』コネクタ
IDEフラットケーブル

3 取り付ける

❶ パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

❷ パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

❸ 各ケーブルを接続します。

❶IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。プライマリ（1系列目）またはセカンダリ（2系列目）を充分確認し、接続してください。

❷電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

IDEフラットケーブル
IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。）

電源ケーブル
電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。

❹ 添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❺ パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺機器を元に戻します。

4 確認する ●本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、CD-RWドライブを使うことができます。

追加されたアイコン

▼Windows XPの場合

▼Windows XP以外の場合

こんな時には…

パソコンが起動しない場合
本製品の「マスタ」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合
●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）

5 B's Recorder GOLD5 BASIC ＋ B's CLiP5をインストールする

※本製品に添付の「B's Recorder GOLD5」は、「B's Recorder GOLD5 BASIC」ですが、これ以降は「B's Recorder GOLD5」と記述します。

❶ 他のライティングソフトがインストールされている場合は、削除してください。
また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアがインストールされている場合も削除してください。

❷ 「CDRWツールズコレクション」CD-ROMをセットします。

❸ 自動でメニューが表示されます。自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの [Autorun] ([Autorun.exe]) を起動してください。

❹ あとは、画面の指示にしたがってインストールしてください。
※インストール中、下記のシリアルナンバーが自動的に入力されます。

●**GOLD5 BASIC：**
●**CLiP5 ：**

裏へ続く

B's Recorder GOLD5 + B's CLiP5を使用する際のご注意

使用方法の詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。各ソフトウェアをインストール後、[スタート]メニューの[B.H.A]内に登録されます。

- ●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないでCD-R/RWへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション(MULTISESSION:セッション単位でデータを追記すること)記録したCD-R/RWメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD5」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」で表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ●一度でも書き込みに失敗したCD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したCD-RWメディアは「B's Recorder GOLD5」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- ●いったん、「B's Recorder GOLD5」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD5」と本製品を使用してください。また、いったん「B's CLiP5」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP5」と本製品を使用してください。
  (一度、B's CLiP5で使用したCD-RWメディアをB's Recorder GOLD5で書き込む場合は、標準消去で完全に消去してください。)
- ●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、CD-Rメディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- ●「SMART-BURN」「Seamless Link」「JustLink」「BURN-Proof」などのエラー回避機能のチェックを外さないでください。(ドライブによって機能の名称が異なります。)

《B's Recorder GOLD5の場合》
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」※で、“転送速度エラー回避機能”をONにしてください。
※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」ボタンは表示されません。

- ●**CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意**
  B's Recorder GOLD5が対応していないCD-ROM※の場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
  ※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
- ●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。

6 音楽CDを作る

STEP 1 WAVEファイルを作る

オリジナル音楽CDを作るには、まず、CD-Rに書き込む音楽データ(WAVE)を作ります。B's Recorder GOLD5には、音楽CDのデータをWAVEファイルに変換する機能がついています。ここでは、音楽CDからWAVEファイルを作成します。

※以下に記載する作成方法は例です。B's Recorder GOLD5の詳細な使用方法はオンラインマニュアルをご覧ください。

❶ 本製品に音楽CDをセットします。

❷ B's Recorder GOLD5を起動します。

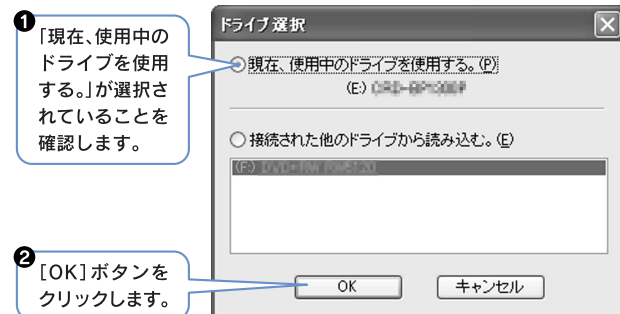
アイコン をダブルクリックします。

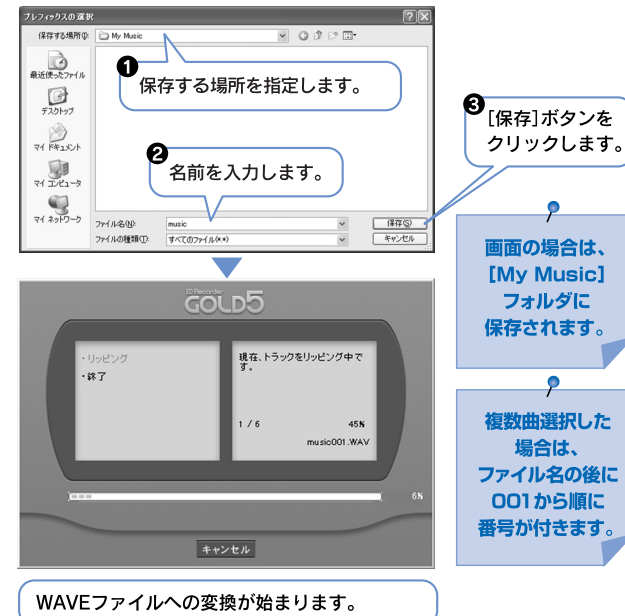
または、[スタート]➡[プログラム(すべてのプログラム)]➡[B.H.A]➡[B's Recorder GOLD5]➡[B's Recorder GOLD5]の順にクリックします。

❸ [リッピング]ボタンをクリックします。

この画面が表示されない場合は、メニューから[メディア]➡[リッピング]を順にクリックしてください。

❹ 「CDの使用許諾条件について」画面が表示されたら、画面の指示にしたがってください。

❺ 「ドライブ選択」画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

❻ 「リッピング」画面でWAVEファイルに変換する曲を選択し、[開始]ボタンをクリックします。

❼ 変換するWAVEファイルの名前を入力します。

❽ 変換が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

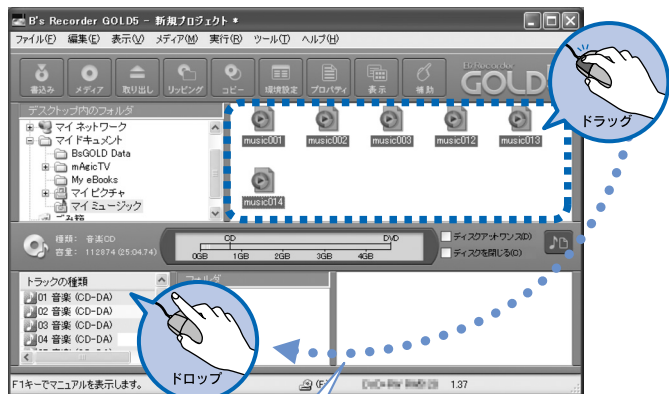
「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。その後、「リッピング」画面に戻りますので[閉じる]ボタンをクリックしてください。

これでWAVEファイルができました。WAVEファイルを保存した場所をおぼえておいてください。

STEP 2 書き込む

STEP1で作成したWAVEファイルを使用して、オリジナル音楽CDを作りましょう。

❶ 本製品に未使用のCD-Rをセットします。
補助画面が表示されている場合は、閉じます。

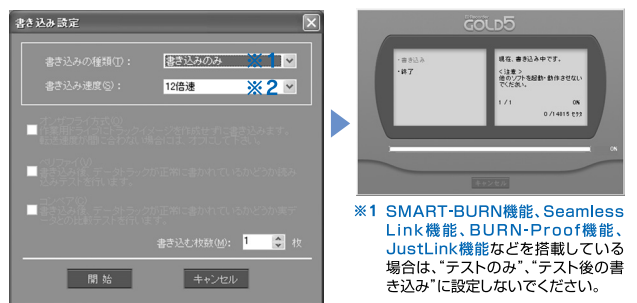
❷ 書き込むWAVEファイルを登録します。

WAVEファイルが登録されます。

WAVEファイルを登録すると、登録した合計時間が表示されますので、書き込み先のCD-Rの容量を越えないようにしてください。

❸ いよいよ、書き込みます。

ボタンをクリックすると、[書き込み設定]画面が表示されます。「書き込みの種類」と「書き込み速度」を設定して、[開始]ボタンをクリックしてください。

※1 SMART-BURN機能、Seamless Link機能、BURN-Proof機能、JustLink機能などを搭載している場合は、“テストのみ”、“テスト後の書き込み”に設定しないでください。

※2 CD-RWの最大書き込み速度の約半分の速度を推奨します。

❹ 書き込みが終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

これでオリジナル音楽CDが完成しました。